

「第5次西宮市総合計画 後期基本計画（素案）」に対する 意見提出手続（パブリックコメント）の結果を公表します

「第5次西宮市総合計画 後期基本計画（素案）」に対する意見提出手続（パブリックコメント）について、ご意見の概要とそれに対する市の考え方をとりまとめましたので公表します。
貴重なご意見をいただきありがとうございました。

※ いただいたご意見は、原則として要約したものを記載しています。

※ 個人・団体等への誹謗中傷など市が不適切と判断した内容や、個人等が特定される内容については、記載していません。

1. 意見募集結果概要

- 【意見募集期間】 令和5年（2023年）7月18日（火）～ 令和5年（2023年）8月16日（水）
【意見提出者数】 33名
【意見提出件数】 71件

《回答分類別》

回答分類	説明	件数
①素案に記載済の内容です	いただいたご意見の内容は既に素案に盛り込まれています。	17
②素案を修正します	いただいたご意見をもとに素案を修正します。	0
③今後の参考・検討とします	素案の修正はしませんが、いただいたご意見は今後の参考（検討）にします。	43
④素案のとおりとします	ご意見の反映や対応が困難、または、市の考え方と方向性が合致しない内容です。	8
⑤その他	素案の内容と直接関係のないご意見、感想等（①～④に該当しないもの）。	3
	合計	71

問合せ先：西宮市政策推進課 Tel 0798-35-3666

2. ご意見の概要及び市の考え方について

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
1	後期基本計画（素案） 後期基本計画の策定に当たって	社会状況や新たな課題対応による施策推進については、国からの政策目標に対する西宮市の施策に対する具体的な施策が見えない。「Society5.0」「2050年カーボンニュートラル」「デジタル田園都市国家構想総合戦略」、これらの推進で欠かせないのは、現代の教育を受けていない高齢世代のリテラシー問題の解決である。	1	<p>国の政策目標に対する本市施策推進の視点は、後期基本計画（素案）の2頁に「西宮市DXの推進」、「西宮版総合戦略の推進」、「ゼロカーボンシティの実現」を掲げています。基本計画は「将来像実現に向けた施策の体系」と位置付けているため、この3つの視点は部門別計画等により具体的な取組を示していますので以下を参考にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西宮市DX推進指針 ・西宮版総合戦略 ・第4次環境基本計画 ※現在、策定作業中 <p>今後、高齢化や人口減少が進む中で時代に応じた課題へ適切に対応し、持続可能な行政運営を行うことが重要となります。ご意見いただきました課題も意識しつつ、後期基本計画に掲げる各施策を推進していきます。</p>	①
2	後期基本計画（素案） 後期基本計画の策定に当たって	『未来を拓く文教都市・西宮』を創るために、「まちづくりの理念」を改めて追究して、将来像実現のための施策を実行していただきたい。 「子供を応援しない“西宮”に未来はない」という意識で、行政が公助的な助成を行い、共助と公助を合わせて自助を支える施策を実行すれば、きっと、あらゆる年齢の人々をいつまでも住み続けたい気持ちにさせてくれる。 子供にも、大人にも、高齢者にも、障害者にも「やさしい」施策を実行していただきたい。そうすれば、何かあっても助け合える繋がりがある西宮の豊かな暮らしが実現する。	1	<p>第5次西宮市総合計画基本構想では、「子供の育ちを応援し、子育てしやすい環境をつくる」こと、「自助と共助（互助）の考えで地域のきずなを強め、地域共生の社会に向かう」ことなど、6項目のまちづくりの主要課題を掲げています。ご意見いただきましたとおり、これらの主要課題を踏まえ、将来像の実現に向け、後期基本計画に掲げる各施策を分野横断的に連携して推進していきます。</p>	③
3	後期基本計画（素案） 後期基本計画の策定に当たって	「1.後期基本計画における施策推進の視点」の「ゼロカーボンシティの実現」について、市民一人一人が、環境保全を自分ごととして行動できるように環境学習を推進することが有効だと思えるが、その為には、入り口として現状の問題、それも日本全体（例えば、世界各国における我が国がどれだけのCO2を排出しているか。その比率なども。）から、西宮市としてどの程度を担うのか又は国とベクトルを合わせて取り組むというだけなのか等、市民にその取り組む理由や動機づけを明確に指し示していただきたい。	1	<p>基本計画は将来像実現に向けた施策の体系として、「ゼロカーボンシティの実現」を後期基本計画期間における施策推進の視点から掲げたものです。なお、現状の地球温暖化の問題については部門別計画である西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）をご覧ください。 詳細については以下を参考にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編） <p>https://www.nishi.or.jp/shisei/sogokeikaku/kankyokatsudo/APGWC_area2nd.html</p>	①

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
4	後期基本計画（素案） 後期基本計画の策定に当たって	西宮市北部地域の課題を改善、解決に導くための取組や計画の見直し等を協議していただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・農家への優遇支援強化 ・休耕田や耕作放棄地の再生による農地保全 ・地元農産物（有機栽培、自然農法）を学校給食に導入 ・限界集落、空き家対策 ・公共交通の改善、道路整備促進 ・地域自治組織、農村（RMO）型地域運営組織の活性化 ・市内の隠れた名産品（西宮名塩平飼い有精卵など）に対する販促支援やふるさと納税返礼品指定など ・都市型農業、地元（船坂地区など）での農業体験の普及 	1	北部地域は、大阪、神戸への通勤圏でありながら、東六甲山系から北摂山系に広がる豊かな自然に恵まれ、古くからの歴史や文化が残っていることが大きな特徴であり、今後もこの特徴を生かしたまちづくりを進めていきたいと考えています。ご提案いただきました取組も参考にしつつ、地域活性化の取組や交通利便性の向上を始め、第5次西宮市総合計画と一体化した西宮版総合戦略を推進し、地域の魅力向上に努めていきたいと考えています。	③
5	後期基本計画（素案） 後期基本計画の策定に当たって 後期基本計画（素案）・ アクションプラン はじめに	SDGsを全面的にバックボーンにする点について、西宮市議会ないし市長におかれては、どのような検討・審議・決定が行われたのか。そのことをまず初めに、もう少し明確にしていれば幸いである。	1	総合計画とSDGsの一体的な推進について、後期基本計画ではアクションプランの冒頭に位置付け、令和5年12月定例会の議案に係る参考資料とすることを予定しています。計画策定における市議会や市長等の関係については、策定体制及び経過として前期基本計画策定時と同様に、冊子巻末の資料編に明記することを予定しています。なお、第5次西宮市総合計画前期基本計画における策定体制と経過については、冊子巻末（資料編144頁以降）に明記していますので参考にしてください。	③
6	後期基本計画（素案） 後期基本計画の策定に当たって 後期基本計画（素案）・ アクションプラン 「2緑・自然」	人口減少が進む中、今の日本の政治では人口の自然増加は望めないで、自治体は社会増加を目指す方向になる。その結果、魅力的な自治体に人口が集中することになる。お金を出すことはもちろんだが、子育て世代にとってあったら嬉しい施設の建設も人口増加に繋がると思う。阪神地区に足りないものは動物園で、リゾ鳴尾浜跡地に神戸どうぶつ王国くらいの規模の動物園があれば連日親子連れであふれることになるだろう。甲子園浜から鳴尾浜にかけては戸建てやマンションも多く建設されており、アクセスもそれほど悪くない。尼崎、西宮、伊丹は神戸に負けないポテンシャルを持っているはずで、三つの市を合わせて神戸市の3分の1の面積なのに、100万人が暮らしており動物園ニーズはある。人口構成も神戸に比べて生産年齢人口が多いため、検討を進めてはどうか。	1	今後続くと思込まれる人口減少社会においては、社会増を目指す取組の必要性を認識し、ご意見の趣旨も参考にしつつ、より選ばれるまちを目指した取組を進めていきたいと考えています。 旧リゾ鳴尾浜を含む鳴尾浜臨海公園南地区は、主に健康増進施設を中心とした公園であり、再整備にあたっては、市民が身近に感じることができるスポーツ・レクリエーションを始めとした賑わいづくりを図っていく必要があると考えています。現在、市では臨海部に位置する公園、緑地をはじめとした公有地については、効率的かつ効果的な土地利用のあり方の検討を進めており、本公園のあり方についても、その中で総合的に判断していきます。	③

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
7	後期基本計画（素案） 後期基本計画の策定に当たって 後期基本計画（素案）・アクションプラン 「15健康増進・公衆衛生」	西宮市は、アフター・コロナの現状把握と、5年後の将来展望の基本計画の修正や更新が出来ているか。 世界各国は、既にワクチン接種を中止しているが、西宮市は未だにワクチン接種券の発送を止めていない。ワクチンを接種し新たに購入している、そんな国は今や無い。市は、私たち市民に向けて公正な情報を率先して発信出来ているか。ワクチン接種が原因と思われる後遺症に苦しむ方々に、やさしく寄り添う窓口対応や電話対応がなされているか。国の方針や施策に追従しているだけではないか。市民の現状をつぶさに観て、市民ファーストの政策が本当に出来ているか。ワクチン接種後に起きた健康被害だと申請した市民の現状を把握しているか。市民に寄り添う施策を推し進めて、未来を拓く「文教都市・西宮」を未来の世代に引き継げる様にしていきたい。	1	後期基本計画（素案）では、冒頭に「後期基本計画の策定に当たって」を項目として設け、アフター・コロナにおけるまちづくりの課題を提起した上で各施策分野の現状や課題、取組内容を前期基本計画から修正しています。 新型コロナウイルス感染症や、今後の発生やまん延が懸念される新興・再興感染症等への対策（患者対応やワクチン接種など）においては、国や県、関係機関と連携し、法令等に基づく円滑な対応、適切な情報発信に努めていきます。 人々のライフスタイルや価値観の変化を始め、第5次西宮市総合計画策定後の社会状況の変化や新たな課題に対応した後期基本計画を策定し、今後も基本構想が掲げる将来像の実現に向かって各施策を推進していく予定です。	①
8	後期基本計画（素案） 後期基本計画の策定に当たって 後期基本計画（素案）・アクションプラン 「34政策推進」	公共事業の過剰など経常収支を見直し、施策分野「6子供・子育て支援」の取組内容に対する予算を増やし、各年度毎に具体的な成果を創出する計画立案と実行を“見える化”していただきたい。明石市政の成果を見倣い「将来も西宮に住みたい」と感じる様な「子供・子育て支援」を実現して、人口増加を達成すれば、西宮市の税収増加により多方面の様々な施策を手厚くする事が出来ると思う。国政の官制経済体制に乗じる施策は止めて、「子供・子育て支援」を第一優先にして、政・官・財の癒着や利権、無駄遣いを払拭して、予算シフトを実行する、「西宮市から国を変える」という市政を望む。	1	後期基本計画では各施策を分野横断的に連携して推進する視点の一つとして、「行政経営改革の推進」を掲げ、「常に機能的で効率的な組織及び運営の実現に努め、最少の経費で最大の効果を上げるため、限られた経営資源を最大限に活用し、市民の視点に立った行政経営の実現に向けて、施策・事業の見直しを推進していく」ことを明記しています。今後の少子高齢化や人口減少など社会経済情勢が大きく変化する中で生じる新たな行政課題に適切に対応していくために、いただきましたご意見も参考にしつつ、後期基本計画に掲げる各施策をして推進していきます。	③
9	後期基本計画（素案） 後期基本計画の策定に当たって 後期基本計画（素案）・アクションプラン 「34政策推進」	2022年6月7日の参議院内閣委員会、泉房穂参考人の質疑応答と提出資料を参考にして、西宮市から国政へ意見書を提出し、地域への助成を要望していただきたい。 ・西宮市の財政は、旧態依然の予算配分を踏襲していないか。 ・公共事業やインフラ整備等に無駄遣いは無いか。 ・業界団体に向き、重きを置いたお金の遣い方をしていないか。 ・西宮市が独自でやるべき事を丸投げや委託をして、無駄遣いをしていないか。 ・市民に寄り添う施策が優先されているか。 市議会での追究と議論を期待する。従来の市政や財政を見直して、優先施策の予算を増やせる様に、やりくりして予算シフトを実行していただきたい。	1	後期基本計画では各施策を分野横断的に連携して推進する視点の一つとして、「行政経営改革の推進」を掲げ、「常に機能的で効率的な組織及び運営の実現に努め、最少の経費で最大の効果を上げるため、限られた経営資源を最大限に活用し、市民の視点に立った行政経営の実現に向けて、施策・事業の見直しを推進していく」ことを明記しています。今後の少子高齢化や人口減少など社会経済情勢が大きく変化する中で生じる新たな行政課題に適切に対応していくために、いただきましたご意見も参考にしつつ、後期基本計画に掲げる各施策をして推進していきます。	③

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
10	後期基本計画（素案） 後期基本計画の策定に当たって 後期基本計画（素案）・ アクションプラン 「34政策推進」	建築系公共施設やインフラの更新、改修、工事内容等の優先順位を見直すなどして、毎年一定額を「子供の育ちを応援し、子育てしやすい環境をつくる」ための施策に対して予算を充当する様にしてはどうか。我が国の少子化対策は、海外と比較すると投資額が少ないといわれている。また、子供・子育て支援の政策は、経済政策そのものである。子育て層がお金を遣える様に、「お金」と「もしもの時」の不安を解消出来る様に支援する施策を充実させていただきたい。例えば、阪神西宮駅前への新中央図書館の移転計画に合わせて、駅前に子供用の施設等を設置すれば「子供・子育て支援」の対策に繋がる絶好の機会だと思う。	1	後期基本計画では各施策を分野横断的に連携して推進する視点の一つとして、「行政経営改革の推進」を掲げ、「常に機能的で効率的な組織及び運営の実現に努め、最少の経費で最大の効果を上げるため、限られた経営資源を最大限に活用し、市民の視点に立った行政経営の実現に向けて、施策・事業の見直しを推進していく」ことを明記しています。今後の少子高齢化や人口減少など社会経済情勢が大きく変化する中で生じる新たな行政課題に適切に対応していくために、いただきましたご意見も参考にしつつ、後期基本計画に掲げる各施策をして推進していきます。	③
11	後期基本計画（素案）・ アクションプラン 「2緑・自然」	街路樹について、樹木の剪定が他市と比べ剪定業者任せとなっている。街路樹の効果と役割について芦屋市の「芦屋のみちの木」という冊子を添付するため確認されたい。また「芦屋市街路樹等維持管理基本書」にも樹種による選定方法から詳しく書かれているためホームページにより確認されたい。（西宮市のホームページでは、維持管理方法等の詳細が分からない）是非、市から剪定業者に指導をしていただきたい。	1	街路樹は、道路の広さや樹種に応じた樹木の大きさとするため定期的に剪定を行っていますが、美しい並木景観となるよう、業者指導も含めた適正な維持管理に努めていきます。	③
12	後期基本計画（素案）・ アクションプラン 「2緑・自然」	公園の草を刈り込むのはやめていただきたい。ウラジロチチコグサなどの美しい花や葉をつけない草は根こそぎ抜いていただきたい。クローバーぐらいの背たけのものは公園の外まわり近くに生えていても抜かないでいただきたい。自然と共に生きたい。	1	公園の雑草は景観や見通し確保等の観点から地際での刈込は必要と考えています。ご理解いただきますようお願いいたします。	④
13	後期基本計画（素案）・ アクションプラン 「2緑・自然」	2. 緑・自然 ・ 樹齢の長い木、一般の街路樹の保護、管理の強化 ・ 魚類が住める海、川を拡張する。（〇〇プロジェクト等の立ち上げ）	1	樹齢が長い公園樹や街路樹については、腐朽等による倒木リスクのある樹木等はやむを得ず伐採する場合がございますが、基本的には健全に生育できるよう樹木管理に取り組んでいきます。また、海や川の拡張はできませんが、生物多様性の保全のため、いただいたご意見を参考に、引き続き環境学習施設での展示を通じて海や川の自然環境の重要性などの普及啓発に取り組んでいきます。	③
14	後期基本計画（素案）・ アクションプラン 「3景観」	市民による景観啓発活動ではなかなか利益を生み出せないため、啓発活動を継続できる施策の推進を望む。まちに愛着を持ち、少しでもいいので良くして行こうという市民が増え、その意識が醸成していけば、魅力ある都市景観が作られると信じている。	1	ご意見のとおり、魅力ある都市景観を形成するには、行政による景観誘導だけでなく、事業者も含め、市民一人ひとりの景観に対する意識の向上が、美しいまちの実現に向けた第一歩であることから、啓発活動や市民活動の支援、参画と協働の仕組み作りについて更なる検討と取組を行っていきます。	③
15	後期基本計画（素案）・ アクションプラン 「4市街地」	津波発生時におけるヨットハーバーに係留中の各艇の流出に伴う2次災害の防止策として、敷地内の適切な箇所に流出防止柵を設置することを施策分野「30 防災・減災」の取組として提案する。	1	津波発生時における係留を外れた船舶による二次災害の防止については、兵庫県が適切な指導を行っているところです。いただいたご意見は兵庫県にお伝えいたします。	③

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
16	後期基本計画（素案） アクションプラン 「5 公共交通」	<p>JR甲子園口駅北側について</p> <p>甲子園口駅は住民の通学、通勤の要所であるが、駅前ロータリーは4本の道路とつながり通過車両も多くスペースが狭い為過密化している。現状と課題として、「バスが到着するとUターンの為交通が一時ストップする」、「客待ちタクシーや送り迎えの自家用車が時間帯によっては、歩行者、自転車、車の交通障害となっている。」、「JR線路を南北に抜けるには中津浜線の陸橋を超えるか甲子園口駅前を通り抜けるしか方法が無い」、「駅前ロータリーから東へ抜ける線路沿いの道は幅が狭く歩道もない、車がすれ違う際歩行者が隅で立ち止まり、車の通過待ちを余儀なくされている場合がある」等が挙げられる。次のおり、JR甲子園口駅北側エリアの整備を希望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した建物の危険の排除（市と所有者と協議し対応策を模索、市が介入し取り壊し更地にするなど） ・駅前の交通の安全・安心のためエリア一帯の整備（駅前広場やアクセス道路の整備など交通結節点の整備・機能強化を促進、歩道の確保等） ・駐輪場を含めた市民のためになる施設の整備 	5	<p>（老朽化した建物について）</p> <p>いただいたご意見にある老朽化した建物につきましては、従前より建築基準法に基づき、建物の区分所有者の方々に対し、建物の維持保全の通知等を行うとともに経過観察を行っており、引き続き建築基準法に基づき建物の区分所有者の方々に通知等を行い、状況改善への意向を確認するとともに、適切な措置をとるよう指導していきます。</p> <p>なお、老朽建物であっても所有者に所有権があることから、市が介入し取り壊すことは難しいと考えていますが、当該老朽建物につきましては、引き続き建築基準法に基づき建物の区分所有者の方々に通知等を行い、状況改善への意向を確認するとともに、適切な措置をとるよう指導していきます。</p> <p>（駅前の安全対策について）</p> <p>JR甲子園口駅北側は、各種の交通が輻輳し、安全性や利便性に関する課題が多い地域と認識しています。これまで、これらの課題を解消することを目的とした駅前整備等を検討してきましたが、そのためには、歩行者等と自動車の動線を分離し、駅前の通過交通を排除することが重要となります。しかしながら、当駅北側地域では、駅前を通過する自動車交通を他の道路に振り替えることがかなり難しい状況となっていることから、歩行者等の安全性や利便性に関して事業費に見合った効果が得られるような整備計画の立案に至っておらず、現段階において事業の具体化の見通しが立っておりません。今後も定期的に交通量調査を実施するなど、交通状況の把握を行うとともに、駅周辺の土地利用状況の変化も確認しながら、引き続き、実施可能な対策について検討していきます。</p> <p>（駐輪場の整備について）</p> <p>駐輪場については、財政上の制約もあり、他の駅周辺を含めて新設は困難な状況ですが、民間駐輪場の整備を支援するなど、駐輪場の確保に努めていきます。</p>	③
17	後期基本計画（素案） アクションプラン 「5 公共交通」	<p>施策分野「5 公共交通」について、取組内容「2 バス交通の充実」と「3 公共交通の利便性向上」の両方に関連するが、例えばバスをミニバスにして、狭い道での利便性を向上させたり、高齢化社会の中で足腰の弱い老人向けに、より住宅街近く、図書館や公民館、市役所、保健所から病院等のルート、停留所追加や改廃等を、見直す検討を市民の声を聞きながら実施いただけないか？。ミニバス化やルート改善、停留所追加、ダイヤ改善で、CO2排出量削減や、狭い道路での道路の傷み改善、更に渋滞緩和や、更なる素敵な街へ皆が、気軽にいつでも出掛けやすくなり、地域活性化に繋がるのではないか。</p>	1	<p>バス事業者と市は、これまでバス路線の拡充等に関する様々な情報や課題の共有を図るため、意見交換の場を設けており、「みんなが暮らしやすく、お出かけしたくなるまち」を目指し、バス事業者と協力して、市民の声を踏まえながら、運行ダイヤ・経路の見直しをはじめとするバス路線の強化・再編に取り組んでおり、市民の方からいただいた意見については路線バス事業者と共有しています。</p>	①

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
18	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「5公共交通」、「17生涯学習」、「18文化芸術」	中央図書館—大谷記念美術館—市内鉄道各駅など、市内各所に設けているシェアサイクルを無料化してはどうか。大谷記念美術館や中央図書館の来場者数を増やすための方策や利便性向上に繋がるのではないかと。大谷記念美術館で開催されるイタリアボローニャ国際絵本原画展は、年間の目標来場者数を達成するために、入館料を無料化又は減額か半額以下にして来場意欲を促進する必要があるのではないかと。その他にも、市内のシェアサイクルや施設の入館料を無料化して、来場者を増やし経済を回す仕組みづくりが出来るか試行してみてもどうか。このような無料化によって、子供教育支援が地域経済の活性化につながる可能性を見出し、様々な施策などを積極的に推進していただきたい。	1	ご意見のとおり、より多くの市民の方に中央図書館や大谷記念美術館に来館いただくため、来館意欲を促進する取組は必要であると考えていますが、現時点でシェアサイクルの無料化は検討しておらず、また、大谷記念美術館については単に入館者数を目標値とするのではなく、持続可能な運営を行うために適正な料金負担を入館者へお願いしています。なお、市内の中学生以下は入館料を無料としており、子供の教育支援に努めています。	③
19	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「5公共交通」、「29道路」、「32地域防犯・交通安全・消費者安全」	5. 公共交通 ・バス路線改良（現状のバス路線は鉄道駅中心にできており、東西に移動しづらい。） ・自転車道の整備及び規制、運転者の講習、指導、取締（危険な運転がかなり見受けられる。） ・電動キックボードの規制	1	バス路線の改良については、路線バス事業者の判断によるものではありませんが、路線バス事業者と協力して、運行ダイヤ・経路の見直しをはじめとするバス路線の強化・再編に取り組んでいます。 自転車道を含めた自転車通行空間の整備については、「西宮市自転車利用環境改善計画」に基づき、計画的に進めています。また、規制や講習、交通指導取締りについては、警察の所管となりますが、本市としましても交通安全推進のため、警察と連携しながら交通ルールの啓発等に取り組んでいるところです。	①
20	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「6子供・子育て支援」、「7学校教育」	① 子供・子育て支援 学校教育 ・阪神電車本線以南地域の校区（浜甲子園中、鳴尾南中、高須中、鳴尾中）見直し及び鳴尾中校区のうち、里中町、上鳴尾町、甲子園6番町を学文中校区へ戻す。 ・統廃合後、跡地を中核市移行に伴う「独自の児童相談所」の設置	1	・基本的な市の考え方として、校区変更は該当する児童生徒や保護者のみならず、様々な地域コミュニティに大きな影響があります。多くの方の理解を得ながら進めていく必要もあり、その実施に当たっては慎重な検討が必要であると考えています。また、各学校の児童生徒や今後の増減の見込み、施設の状況などを見ながら、長期的に考えていく必要があり、地理的な要因のみで校区を変更することは困難であると考えています。 ・市立の児童相談所については、設置に向けた検討を進めており、その中で、設置の意義や役割などと合わせて設置場所についても検討していきます。	④
21	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「9地域福祉」、「10高齢者福祉」	施策分野「9地域福祉」「10高齢者福祉」について、この両者を掛け合わせた施策が推進できないものかと思う。民生委員による高齢者の見守りについて家族同居高齢者は対象外であるが、四角四面に「家族同居高齢者」とくくるのではなく、それぞれの置かれた立場を把握した上での見守りが必要ではないか。そうでないと、財政的に余裕のある世帯は地域福祉に頼ることがなくなり、地域と疎遠な高齢者が増えると思う。	1	民生委員の高齢者の見守りについて、家族同居高齢者の方についても、必要に応じて見守りを行っています。見守りが不要であった世帯についても、世帯状況の変化を把握できるよう2、3年に1度は見守りの必要性の確認を行うようにしています。 また、地域福祉の観点から、民間企業・協同組合等と連携した見守り体制の構築を行っており、今後も民生委員を含めた多様な主体による支援体制の構築を進めます。	①

【回答分類】 ①素案に記載済の内容です ②素案を修正します ③今後の参考・検討とします ④素案のとおりとします ⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
22	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「10高齢者福祉」、「32地域防犯・交通安全・消費者安全」	10. 高齢者福祉 ・特殊詐欺対策講習会 ・認知症予防対策	1	<p>・現在、特殊詐欺対策の講習会としては、警察や専門家を講師とした市民向け講座や防犯教室等を実施しています。なお、通話録音装置機器の貸与事業、電話機等の購入補助制度も実施しています。今後も庁内の関係機関で連携し、特殊詐欺被害の縮減に向けて啓発を進めていきます。</p> <p>・認知症は、社会的孤立や生活習慣などがリスク要因として関係性が深いと考えられています。10. 高齢者福祉の取組内容における、「①介護予防の推進と生きがいづくり・社会参加の促進」が、認知症予防対策となると考えています。</p>	③
23	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「14医療サービス」、「30防災・減災」	現在の異常気象を踏まえ、洪水が起きている時に南海トラフ地震が起きて津波が来る予想をした上で災害対策を検討すべきである。兵庫医科大学病院について、武庫川が氾濫した場合でも地域災害拠点病院としての役割を果たすために、病院の屋上にヘリポートを設置するか阪神高速3号神戸線とつなぐ出入り口を整備するべきである。あるいは、西宮総合医療センターについて、市北部地域での災害も想定した上で屋上にヘリポートを設置し、地域災害拠点病院に指定するべきである。	1	<p>兵庫医科大学病院については、既にヘリポートが整備されています。</p> <p>また、県立西宮病院は災害拠点病院として、南海・東南海地震対応を想定し、資機材の備蓄やDMATの育成、災害対策訓練などを実施しているため、西宮総合医療センター（仮称）においても災害拠点病院としての機能を維持します。また、屋上にはヘリポートも整備する予定で、災害時における具体的な運用は今後の検討となりますが、市民の安全確保に資するものになると考えています。</p>	①
24	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「16人権・多文化共生・平和」	「参考資料 後期基本計画（素案）アクションプラン」のP37、取組内容「②男女共同参画の促進」について、男女共同参画の促進が労働環境に限定されているので、「男性中心型労働慣行等の見直しと女性の活躍の推進を含むあらゆる場における男女共同参画を促進し、性別にとらわれず、自らの意思に基づき個性と能力を發揮できる社会を目指す各種啓発活動を実施する。」と変更を提案する。	1	<p>第5次総合計画の部門別計画である西宮市男女共同参画プランに基づき、「労働分野における男女共同参画推進」を重点施策として前段で特筆していますが、後段の、「性別にとらわれず、自らの意思に基づき個性と能力を發揮できる社会を目指す各種啓発活動を実施する。」という取組内容は、同プランの基本理念であり、あらゆる分野について述べたものです。後期計画においても、同様に男女共同参画の促進に向け各種事業に取り組んでいきます。</p>	①
25	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「17生涯学習」、「21大学連携」	② 生涯学習、大学連携 ・宮水学園の充実 ・公民館講座の夜間開設、推進委員の充実 ・公益財団法人鳴尾会主催「生涯学習鳴尾大学」（対象：鳴尾地域居住者限定、講師の中心：武庫川女子大学の教授）。関西学院大学等と連携して他地域への波及を望む。	1	<p>宮水学園は、60歳以上の市民を対象に、高齢者がいきいきと生活するとともに、住みよい地域社会づくりに取り組むための学習と交流を目的に実施していますが、高齢者の生きがいづくりや社会参加への期待と役割は大きいと考えており、今後も魅力的で多様な講座を企画し受講者の満足度の向上に努めるとともに、学びと交流の場の提供を通じて受講者の自主的な活動の支援を行っていきます。</p> <p>公民館講座の夜間開設につきましては、手話関連講座など、中央公民館のほか一部の公民館で夜間講座を開催しています。今後も内容やニーズを含め、開催の拡充について研究していきます。</p>	③
26	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「17生涯学習」、「33住民自治・地域行政」	地域との連携や生涯学習関連について、市役所内での横の連携があまり無いように思われる。	1	<p>アクションプラン案の取組内容に「地域課題の効率的な解決のために必要な組織体制のあり方について検討を進める」と記載しているとおり、担当部局が連携して取り組んでいきます。また、庁内の生涯学習関連部局の情報共有と連携強化を図るため、令和3年度より生涯学習推進本部を設置しており、引き続き生涯学習施策を円滑かつ効果的に推進していきます。</p>	①

【回答分類】 ①素案に記載済の内容です ②素案を修正します ③今後の参考・検討とします ④素案のとおりとします ⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
27	後期基本計画（素案）・アクションプラン「17生涯学習」	17.生涯学習 公民館講座の充実、資料のWeb化	1	各公民館では、地域関係団体から推薦された地域住民で構成する「公民館地域学習推進委員会」を設置し、地域課題等をテーマとした講座を年間15回程度企画・運営しています。また、講座の開催方法につきましては、対面による講座のほか、西宮市公式YouTubeチャンネルで、講師から承諾を得られた一部講座を公開しています。今後も、市民の学習環境の充実に努めていきます。	③
28	後期基本計画（素案）・アクションプラン「17生涯学習」	個人の自己実現だけを目標にするのではなく、デジタル化など世代ギャップの生まれるリテラシーに関する学習推進も必要だと思う。	1	ICT機器を利用できる者とできない者の格差（デジタル・ディバイド）の解消のため、公民館推進委員会講座において、スマホの使用方法に関する講座を実施する等の学習機会を提供しています。また、公共施設の環境整備やYouTubeを活用したオンライン講座等を通じて、インターネットを活用した学びについても支援していきます。	③
29	後期基本計画（素案）・アクションプラン「17生涯学習」、「18文化芸術」	持続可能なまちづくりを推進していくためには、地域づくりやひとづくりに対する市民の主体的な市民参画が不可欠である。しかし、現代の西宮市民においては、創造活動の基礎力を養成するものづくり経験の不足が、将来世代のまちづくりやひとづくりに対するマインドに悪影響を及ぼしているおそれがあると感じている。 一方で、近年では3Dプリンター等の工作ツールの価格が大きく下がり、従前とは大きく異なる手段でものづくりが行える環境になりつつあり、世界的にはデジタル機器の工作ツールを備えた、市民のための地域工房が注目されている。 西宮市においても、この地域工房のような、市民が気軽に「新しいものづくり」を体験できる場づくりを推進していただきたいと思う。例えば、現在検討がなされている新しい中央図書館の中において、官民連携で地域工房の場を整備するなどの、時代を先取りする取組を進めていただきたい。	1	デジタル機器の工作ツールを活用した新しいものづくりを体験するための場づくりの推進については、その需要や先進事例の効果等も踏まえながら今後の参考とさせていただきたいと考えています。 新しい中央図書館については、基本構想及び基本計画の策定に向けて検討を進めており、いただきましたご意見は参考とさせていただきます。	③

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
30	後期基本計画（素案）・アクションプラン「18文化芸術」	<p>施策分野「18 文化芸術」①文化芸術に関わる人材への支援、②文化芸術の浸透、③文化芸術施設の整備、④文化財の保存と活用における具体的な取組内容を教えて欲しい。</p> <p>また、西宮市には文化芸術に関わる人材や施設が充実していると思うため、「ひと・もの・かね」をマネジメントし、心豊かな市民が多く住み続けられるまちを計画し、具体的に上記①②③④が活用されることを望む。</p>	1	<p>①文化芸術に関わる人材への支援及び②文化芸術の浸透については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が「みる人」として心の豊かさ等につなげるため、カルチャーイベントカレンダーを毎月発行するほか、市に関連する文化・芸術情報を西宮美術回廊、西宮文学回廊などのウェブサイトが発信しています。 ・また、「する人」をはぐくむための取組として、西宮少年合唱団や西宮市吹奏楽団への支援のほか、市内中学校の吹奏楽の技術向上等を目的に実施するブラスクリニック、人形劇をする人を育む人形劇講座、市民等の公募により優秀作品を展示する西宮市展を開催し、創作への動機付けを行うほか、市内に2か所市民ギャラリーを設置し、創作活動の発表の場を設けています。また、市役所1階ロビーギャラリーでは西宮で活躍する造形作家の作品を毎月展示し、市役所へお越しになった方に身近に質の高い芸術作品を楽しんでいただけるよう工夫しています。 ・ささえる人の支援では、文化振興基金への寄付を呼び掛け、市民が文化芸術を支援する機運を醸成したほか、未来づくりパートナー事業で公募された事業に助成し、市民と市で協働して事業を実施しています。 ・文化芸術の浸透については、小中学校アウトリーチ事業で市内小中学校に本物のアーティストを派遣するほか、学校から大谷記念美術館を訪れる機会を設け、子供たちに日常とは異なる美術館という場所でのマナーを身に付け、本物の芸術を実際に鑑賞する体験を提供しています。また、まちかどコンサート事業では市内各所でコンサートを実施し身近に音楽に接する機会を創出しています。このほか、野外文化事業では野外の開放的な空間でアート体験を通じてアーティスト・市民・学生・子供たちが交流する場を提供しています。 ③文化芸術施設の整備については、開館から55年を経過したアミティ・ベイコムホールのほか、市民ホール及び市立ギャラリーを安定的に市民の利用に供することができるよう、計画的に改修を行っていきます。 ④文化財の保存と活用では、市内の文化財を把握するため、埋蔵文化財調査や無形文化財調査など各種調査を実施しています。また、文化財の価値を維持するため、指定文化財建造物などの保存修理を進めています。このほか郷土資料館の特別展示や指定等文化財の公開、市内の博物館等施設と連携した講座などを実施し、市民が文化財や歴史文化に触れる機会を提供しています。 <p>まちへの愛着を高め、文化芸術を広く深く浸透させるため、取組内容①～④に取り組んでいきたいと考えています。</p>	①

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
31	後期基本計画（素案） アクションプラン 「18文化芸術」	西宮には芸文センターや音楽によるまちづくりを推進するグループがあり、音楽は身近で充実していると思う。文学についても、事業計画の中での取組において力を入れようとしていることが分かる。しかし、美術工芸などのアート分野への取組が弱いように思う。大谷美術館に西宮ゆかりのアーティストの企画展がもっと充実しているといいのではと思うが、次世代アーティストには少し敷居の高い施設ではないだろうか。後期基本計画で該当しそうなものは、大谷美術館施設改修に対する補助だが、周辺整備も含めて、次世代アーティスト発掘や市民利用が可能な施設になることを期待する。	1	大谷記念美術館は、西宮市の文化芸術施設の中核として、美術品の収集及び保存を行い、ある程度美術史的評価の定まった質の高い芸術作品の鑑賞機会を提供しています。展覧会では、ほぼ毎年本市にゆかりのある芸術家の作品の展覧会を行い、市民の皆様にすぐれた郷土の美術を鑑賞いただいています。 また、市内2カ所の市立ギャラリーは、市民の芸術作品の発表の場として活用されているほか、西宮市展では40歳以下の若手アーティストを対象に若手奨励賞を贈呈しており、プロへの登竜門となっています。 大谷記念美術館施設改修に対する補助に関するご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	③
32	後期基本計画（素案） アクションプラン 「20都市ブランド」、 「28下水道」	・津門川氾濫の対策として、兵庫県が地下にシールド工法で宮水保全地帯を南北に通る巨大な貯留管の建設工事を行っている。 ・名湾線が宮水保全地帯の東端を南北に通る今津東線に建設予定である。 ・市南部の内水氾濫対策で臨港線の地下にシールド工法で宮水保全地帯を東西に通る巨大な貯留管設置計画がある。 ・工事中は土の崩壊を防ぐために薬液注入で固める。その薬液が宮水に影響を及ぼす事がある。 ・南北は今津東線（アンダーパス）が、東西は阪神高速神戸線の橋脚が建っているところは宮水が流れている。 ・宮水地帯には酒造会社の大きな建物や大型マンションが建っており、宮水への悪影響は避けられない。既に宮水保全条例は形骸化している。 ・今津港に巨大な水門が建設され、周囲の堤防により地下深くまで鋼矢板が埋設される。 これらの影響により地下水が『宮水』と呼ばないものになった場合は、開発事業の促進による地区活性化のため、宮水保全条例を廃止してはどうか。また、公園や民間マンション、道路等の地下に貯留槽の設置を義務付ける取組などを進めればシールド工法での貯留管工事は不要となり条例の維持につながる。大規模な施設ではなく、様々な場所で浸透や貯留する仕組みがあれば宮水は守られ、民間の井戸も守られ防災意識等の向上にもつながりSDGsにも貢献できる。	1	本市では、浸水対策事業として学校グラウンドや公園への貯留・浸透施設を整備しています。しかし、近年の降雨状況を考慮すると現況施設のみでは対応できないため、臨港線地下に貯留施設の整備を進めており、今後も宮水に配慮し、市民の安全安心を確保する浸水対策を進めていきます。 津門川貯留管や新川水門の整備においても、灘五郷酒造組合と協議の上、工法選定や工事中の調査を実施していると聞いています。 また、名神湾岸連絡線事業の実施にあたり、環境影響評価書では、宮水保全条例（以下、「条例」という）に係る手続に準じて関係機関と協議を行い事業を進めていくことにより、宮水地帯への影響を低減することができることとされていることから、本市としては、事業者に対して環境影響評価書にある環境の保全と創造のための措置の着実な実施を求めていきます。 なお、条例は本市が指定する宮水保全対象区域において、一定規模以上のマンション建築や宅地造成を行う場合に必要な手続きを示したもので、宮水の存在を広く周知することで、古くから西宮の酒造りを支えてきた天然資源である宮水を将来にわたり保全することを目的に制定しています。条例は、平成30年4月1日以後に開発許可申請等が行われる開発事業について適用されており、宮水への影響の少ない工法を取っていただくことで、宮水の保全につながるように今後も努めていきます。	④

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
33	後期基本計画（素案） アクションプラン 「20都市ブランド」	宮水井戸地帯は名湾線建設や巨大な貯留管設置計画により危機が迫っており、現時点でも全ての酒を宮水から造っている酒造会社は一部となっている。香櫨園浜や御前浜、甲子園浜の沖に埋立地ができたことで、海流が弱まり海水浴の文化は無くなったのと同様に、今津地帯に酒文化と相いれない名湾線ができれば、観光資源が失われるため酒蔵ツーリズムは止めるべきだ。	1	名神湾岸連絡線や貯留管整備については、いずれも宮水に配慮して行われることから、今後も観光資源を活かした酒蔵ツーリズムを推進していきます。 なお、名神湾岸連絡線事業の実施にあたり、環境影響評価書では、宮水保全条例に係る手続に準じて関係機関と協議を行い事業を進めていくことにより、宮水地帯への影響を低減することができるかとされていることから、市としては、事業者に対して環境影響評価書にある環境の保全と創造のための措置の着実な実施を求めています。	④
34	後期基本計画（素案） アクションプラン 「21大学連携」	21. 大学連携 大学の先生が持っている地域の歴史等の情報を、公民館講座などを通じ一般市民に公開する。	1	大学交流センターで開催している「インターカレッジ西宮」、各公民館で開催している「地域学習推進員講座」、子供向けの「宮水ジュニア講座」等において、大学の教員が講師を務める市民対象講座を開催しています。今後も、市内大学と連携して各種講座の充実に努めていきます。	③
35	後期基本計画（素案） アクションプラン 「22産業」	西宮市独自の強み（名産品、産学連携等）を活かして、「地産地消」で経済を回す仕組みづくりを創出していただきたい。例えば、地域振興券や市内や隣接地域で流通させる「地域紙幣、仮称“宮マネー”」の発行を検討してはどうか。	1	地域内で経済循環する取組は、雇用や所得を生み出すことにつながり、税収の増加や、市内経済の活性化につながることを期待できます。 ご提案の地域通貨の導入については、経済対策の観点だけでなく、地域活動などの社会活動にも活用できるよう、他市の事例を参考にメリット、デメリットを整理しながら本市に適した制度を研究していきます。	③
36	後期基本計画（素案） アクションプラン 「25環境保全」	LEDを設置し使用する際に、使用目的に合わせて光量を変化増減されると良いと思う。例えば、通ることだけが目的の廊下などは必要最低限の光量で良いのではないかと。実際に新築の国の出先機関ではそのような工夫が見られた。	1	本市においても、第二庁舎においては、人感センサー付きのLED照明を導入を取り入れています。今後とも、「西宮市公共施設における照明設備のLED化基本方針」に基づき、公共施設におけるLED化を進めていきます。	③
37	後期基本計画（素案） アクションプラン 「25環境保全」	「低炭素」という表現になっているが、間違いか。「脱炭素」が世界標準である。	1	後期基本計画（素案）では、取組内容を「低炭素」から「脱炭素」に修正しています。 また、今年度、第3次西宮市環境基本計画の中間改定の作業を進めており、計画の目標である「低炭素」については、表現の変更を予定しています。	①
38	後期基本計画（素案） アクションプラン 「25環境保全」	「脱炭素社会」の実現の位置付けが低い。目次の最初に位置付けても良いし、言葉のボリュームも増やすべきだ。自然環境のことが多く語られているが、地球環境のことは少ない。市民の生活、生存、そして、総合計画の基盤に関わる問題を軽視されているのではないかと。	1	今年度、第3次西宮市環境基本計画および第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の中間改定作業を進めています。本改定にあたっては、「2050年ゼロカーボンシティにのみや」実現に向けて、国や県、他自治体の最新の動向等を踏まえて取り組んでいきます。	③
39	後期基本計画（素案） アクションプラン 「25環境保全」	「環境学習」を自然、生き物、ごみなどを対象にしたジャンルと、地球環境を対象にしたジャンルに分けるべきである。市内には、専門家は少ないと思いますが、努力すべきところである。	1	「1 環境学習の推進」については、部門別計画である「第3次西宮市環境基本計画」において、具体的に記載しています。なお、本年度は、前述のとおり、同計画の中間改定作業を行う年度であることから、市民にとって分かりやすく、取り組みやすい計画となるよう努めていきます。	③

【回答分類】 ①素案に記載済の内容です ②素案を修正します ③今後の参考・検討とします ④素案のとおりとします ⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
40	後期基本計画（素案）・アクションプラン「25環境保全」	部門別計画として、第2次西宮市地球温暖化対策実行計画がありますが、内容は字面はよいが、本当に実行するのか、できるのか。脱炭素という問題は、「おいしい、かわいい、楽しい、面白い、わくわくする・・・」など、ひとつも該当しない。計画を市民任せにせず行政が真剣に取り組んでいただきたい。	1	「二酸化炭素排出量実質ゼロ」を実現するためには、市民・事業者・行政のそれぞれが持つ責任と役割を認識するとともに、連携・協働し地域一体となって取り組んでいく必要があります。 第3次西宮市環境基本計画および第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）では、行政の役割を明記した上で、計画を推進していくとともに、引き続き、市民・事業者とともに連携を図りながら、二酸化炭素排出量削減に向けて取り組んでいきます。	③
41	後期基本計画（素案）・アクションプラン「25環境保全」	取組内容「1環境学習の推進」とあるが、具体的にどのような媒体で、その範囲と深さをどの程度迄、計画実施するのか。市民にとって、分かりやすく且つ、取り組みやすい学習の場を、是非計画立案願います。	1	「1環境学習の推進」については、部門別計画である「第3次西宮市環境基本計画」において、具体的に記載しています。なお、本年度は、前述のとおり、同計画の中間改定作業を行う年度であることから、市民にとって分かりやすく、取り組みやすい計画となるよう努めていきます。	③
42	後期基本計画（素案）・アクションプラン「25環境保全」、「26生活環境」	クリーンエネルギーを推進することは理解できるが、水陸環境の豊かさを保全することとは相容れない面もある。西宮市北部地区の大型ソーラーパネルの設置は、地元住民の生活環境や安心安全に悪影響ないし不安を実際に与えていると思われるが、この事業推進について、どのような指導が行われ、環境評価や地元住民への説明が行われたのか。暴風による飛散・損壊や有毒物質の流出など、実際の被害等は皆無と考えてよいのか。	1	太陽光発電設備の設置については、事業区域の面積により、平成29年7月から県条例（太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例）および市条例（快適な市民生活の確保に関する条例）において、地域環境との調和および快適な生活環境の確保を目的として、施設基準の遵守や地域住民等との協議を求めています。また、国は関係法令の遵守や周辺環境への配慮などが明記された「事業計画策定ガイドライン（太陽光発電）」を定めており、不適切な案件については、必要に応じて発電事業者に指導等を行うこととしています。市としては、国や県と連携しながら、安全で快適な環境が確保できるよう努めていきます。なお、暴風による飛散・損壊や有毒物質の流出などにつきましては、国が定める「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン」にて災害時における使用済太陽光発電設備の取扱いを定めており、ガイドラインの趣旨に基づいた適正処分が行われるよう、周知啓発に努めていきます。	③
43	後期基本計画（素案）・アクションプラン「26生活環境」	西宮市北部、宝塚砕石（旧・北摂建材）株式会社が展開する砕石の事業は、生瀬方面から見ると山容が大きく変貌するほど、山が削られており、東山台方面から見るといつも附近の山は粉塵で煙っている状況である。有感震度を感じるほどの発破作業も定期的に行われており、およそ豊かな環境を保全する目標からは正反対のものになっている。行政としてどのような見解ないし、方針を持たれているか、お示しいただければ幸いです。	1	砕石事業につきましては、採石法に基づき兵庫県庁の認可によって実施されるものであるため、西宮市役所は指導等する立場にはありませんが、環境法令に抵触する公害事故の際には適切な対応を図ります。	①

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
44	後期基本計画（素案）・アクションプラン「26生活環境」	取組内容1から5まで、現状分析の定量的なデータを示していただきたい。その上で、今後「〇%を〇年かけて改善していきたい、更に向上させたい」というような具体的な計画に結びつけ、市民にどんな協力を呼びかけるのか、今後において議論の場を設け進めて行くのかを教えてください。	1	取組内容の現状分析の定量的なデータや取組内容、市民の皆様へのお願いなどについてですが、これらにつきましては、各部門別計画等においてお示しさせていただいた上で事業を進めていきます。	③
45	後期基本計画（素案）・アクションプラン「27水道」	27. 水道 水道管のチェック、改修、清掃（やや老朽化しているように見える）	1	本市では市内水道管の漏水調査や水管橋の点検等により適切に水道施設の維持管理を行っています。また、老朽化が進む水道施設の更新や耐震化については、重要度・優先度を考慮し、費用の平準化を図りながら、計画的に実施しているところです。引続き安心・安全な水道水の安定的な供給に努めていきます。	①
46	後期基本計画（素案）・アクションプラン「29道路」	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞報道（トラックの運転手不足で2030年の荷物が35%運べず）に今後の少子化の影響を加味すると阪神高速3号神戸線の神戸地区の渋滞は解消する。 ・名神湾岸連絡線（名湾線）について、道路ネットワークの防災機能向上は見込めず、今津地区から出入り口が無いため地元にとっては役に立たないことから、事業費はこの地区の電柱地下化に充てた方が有効である。これまでの震災復旧の経緯を踏まえると阪神間の鉄道を災害時に利用できれば名湾線の必要性は無くなりSDGsにも貢献できる。 ・名湾線建設に伴う新しい西宮JCTにより、住民の生活環境悪化が予想されるだけでなく、不要となる西宮ICの地下構造物が残ったままとなることや宮水や住民の井戸にも悪影響が生じることとなる。 ・「浜甲子園線を延長して湾岸道路に接続する都市計画」が長期間保留されていた理由を明らかにするべきである。 ・環境影響評価書に「地方公共団体などの意見を聴き…」、「関係機関と協議して…」、「最新の知見を踏まえて…」とある。 <p>以上により、文教住宅都市を掲げる西宮市は名湾線建設に反対するべきである。</p>	1	<p>名神湾岸連絡線は、既に工事着手している大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備されることにより、阪神高速3号神戸線と国道43号に集中する交通を阪神高速5号湾岸線に分散し、阪神高速3号神戸線、国道43号や周辺道路の渋滞の緩和、交通安全性の向上、沿道環境の改善、災害時の交通ネットワークの多重化等の効果が期待される道路であることから、大阪湾岸道路西伸部に遅れることなく整備し、供用する必要があると考えています。また、当該道路の整備については、良好な住宅地と恵まれた自然、文化、教育環境などを生かしたまちづくりの指針である「文教住宅都市宣言」と矛盾するものではないと考えています。</p> <p>なお、生活環境や宮水への影響については、事業者に対して可能な限り環境影響を回避・低減するよう環境影響評価書にある環境の保全と創造のための措置の着実な実施を求めています。</p> <p>また、「浜甲子園線を延長して湾岸道路に接続する都市計画」に関しては、名神湾岸連絡線の整備により内陸部と臨海部を結ぶ一般道路の交通量が分散されることから県により廃止されました。</p>	④

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
47	後期基本計画（素案）・アクションプラン「29道路」	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境について、名神湾岸連絡線の影響により、騒音や振動、空気の汚れ、低周波音などに悩まされることになる。 ・また、六甲山が見える場所が少なくなることは残念である。今も宮水を使っている酒造会社もあるため宮水を守っていただきたい。名神湾岸連絡線のコンクリートの柱により名水が悪くなると思う。 ・今後、人と車が減るので今のような渋滞は無くなる。物価の高騰等もあるため、みんなのお金である税金は大事に使って欲しい。 <p>以上より、名神湾岸連絡線は建設しないでいただきたい。</p>	1	<p>名神湾岸連絡線事業の実施による住環境や宮水への影響については、事業者に対して可能な限り環境影響を回避・低減するよう環境影響評価書にある環境の保全と創造のための措置の着実な実施を求めています。</p> <p>また、当該道路の景観への影響については、構造物等のデザインや色彩に十分配慮するよう事業者に求めています。なお、既に着工している大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備されることにより、阪神高速3号神戸線と国道43号に集中する交通を阪神高速5号湾岸線に分散し、阪神高速3号神戸線、国道43号や周辺道路の渋滞の緩和、交通安全性の向上、沿道環境の改善、災害時の交通ネットワークの多重化等の効果が期待される道路であることから、大阪湾岸道路西伸部に遅れることなく整備し、供用する必要があると考えています。</p>	④
48	後期基本計画（素案）・アクションプラン「29道路」	<p>③ 道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の進捗状況（武庫川～広田線、甲子園段上線、門戸仁川線、上ヶ原山手線） ・公図訂正について法務局との協議、住宅地に里道や水路を取り込んでいる。（特に日野町や上之町、極めて難問題） 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の整備につきましては、市の道路整備の方針となる「西宮市道路整備プログラム（令和元年度～令和10年度）」に基づき、計画的に推進しています。ご意見をいただいた路線のうち、武庫川広田線、甲子園段上線、門戸仁川線については、現在、一部区間において整備を進めています。 ・地図訂正につきましては、法務局の登記官が職権で行うこととなっています。地図訂正を行うには、境界測定や分筆登記などを行うときに必要となる方が協議を含め、地図訂正の申し出を行うことになっています。また、住宅地が里道や水路を取り込んでいる場合は、是正に向けた指導を行うこととなります。 	③
49	後期基本計画（素案）・アクションプラン「29道路」	JR甲子園口駅とJR西宮駅間における南北に通じる自動車道および一般道の通行道路の設置について、機会あるごとに伺ってきたが、市は予算を盾に一歩も踏み出そうとしていない。事業費の積み立ては可能ではないのか。	1	JR東海道本線を横断するための道路の整備に当たっては、鉄道の横断部分だけでなく、接続する道路までのアプローチ部分も含めた大規模な整備が必要となり、多大な事業費を要することなどから、現時点での事業化は困難と考えています。	④
50	後期基本計画（素案）・アクションプラン「29道路」	夙川雲井橋通りは道幅が狭いため、日常生活に支障が出て困っている。都市計画道路として決定されているが、部分的にも拡幅に向けての気配は感じられない。道路整備の優先順位はどの様に決めているのか。何故今回は、この道路が選定されるに至ったのか、一般市民にも分かり易く具体的に決定基準をオープンにしていきたい。	1	<p>都市計画道路の整備につきましては、市の道路整備の方針となる「西宮市道路整備プログラム（令和元年度～令和10年度）」に基づき、計画的に推進しています。ご意見をいただいた都市計画道路大浜老松線の整備につきましては、用地買収や鉄道との立体交差等の工事に多大な事業費を要することから、早期の事業化は困難と考えています。</p> <p>なお、道路整備の優先順位等につきましては、現計画において公表していませんが、令和11年度以降の次期計画を策定する際には公表について検討いたします。</p>	③
51	後期基本計画（素案）・アクションプラン「30防災・減災」	30. 防災・減災 避難場所、経路の検討（災害発生時、渋滞等移動困難な状況に陥らないかどうか）	1	市では市民等に迅速かつ安全に避難していただく観点から避難路を指定しています。また、災害時には渋滞等により車での移動が困難になることが予想されることから、徒歩等による避難や事前に避難経路を確認することを周知しています。	③

【回答分類】 ①素案に記載済の内容です ②素案を修正します ③今後の参考・検討とします ④素案のとおりとします ⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
52	後期基本計画（素案）・アクションプラン「30防災・減災」	地域防災力の向上とは、具体的にどのようなことを実施しようとしているのか。「地区防災計画」については、地域の自主的活動に委ねるのではなく目標年を明確にして義務付けてもいいのではないかと。市内の防災士を地区防災計画に関わるような仕組みを作るのも方法の一つではないかと。	1	地域防災力の向上のため自主防災組織を含む住民や、学校、各団体への市政出前講座や防災啓発用品の貸し出し、物品の支給等の活動支援を行っています。地区防災計画につきましては、より実効性のある計画にするには、自主防災組織等が当事者意識を持ち、主体的な作成が必要であるため、目標年限を定めて地域に作成を急がせるのは望ましくないと考え、地域が作成しやすいよう、計画の作成にかかる相談やアドバイザーの派遣等で作成を推進していきます。また、防災士の活用につきまして今年度、市内の防災士を対象とした研修会を開催し、防災士間のネットワークの支援や、地域活動に参加しやすい環境作りに努めていきます。	③
53	後期基本計画（素案）・アクションプラン「33住民自治・地域行政」	④ 住民自治・地域行政 ・閉庁日における大規模ショッピングセンターへの出張相談（群馬県太田市・実施済） ・内容：介護、子育て、医療等	1	・本市では、平成16年よりアクタ西宮ステーションを開所し、年末年始を除き、土・日・祝日の閉庁日にも19時まで、証明発行を中心に業務を行っております。 ・窓口業務の拡充については、状況等を踏まえ検討していくこととしており、今後、検討していく上での参考意見とさせていただきます。	③
54	後期基本計画（素案）・アクションプラン「33住民自治・地域行政」	児童生徒を含む若年層と高齢者が交流できる、自治会やマンション管理組合の枠を超えた地域のコミュニケーションを促す。 タウンマネージャーに代わる例えば、さくらFMラジオからの呼び掛けで定期的な地域交流イベントを実施する。 エビスタ西宮やダイエー西宮、中央商店街の協力店舗等が連携した、戎参道を有するエリアの活性化と世代間交流のための阪神西宮周辺地域の宝物発見事業（仮称）による「世代を超えた人と地域の歴史、文化をつなぐ」ソフト事業等に関する協議会を立ち上げ、タウンミーティングのエリア課題解決に資する活動支援があっても良いと思う。	1	行政と地域団体等多様な主体との間で課題を共有し、各々が密接に連携・協働していく必要があると考えており、ご意見を参考にさせていただきます。	③
55	後期基本計画（素案）・アクションプラン「33住民自治・地域行政」	ハコモノやインフラ整備等だけでは魅力あるまちには育たない。あらゆる分野に関心を持つ市民を増やすことである。自治会活動の現状の1つとして、個々の活動の目的やビジョンを話し合うこともなく申し送りと同じことを繰り返している点が挙げられ、コミュニケーション不足を感じる。これは、地域自治を地域任せ、民間任せにしてきた結果ではないか。自治会は自治が原則だが、行政とは持ちつ持たれずの関係だと思う。協議会のトップが少し考えてみようという姿勢を示すだけでも、現状は変わるかもしれないので、行政が背中を押すということも必要だと思う。また、任意団体も NPOも情報共有できるような環境も必要かもしれない。まちは人が作るため、職員の皆さんも市民目線を忘れずに業務を遂行いただければと思う。	1	地域課題の解決に取り組む人材育成は課題であると認識しており、ご意見を参考にさせていただきます。	③

【回答分類】 ①素案に記載済の内容です ②素案を修正します ③今後の参考・検討とします ④素案のとおりとします ⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
56	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「33住民自治・地域行政」	地域自治においては、高齢世代が中心に動いているが、デジタル化に対応できない高齢世代と若い担い手の間にはギャップが生まれるばかりである。地域自治は、高齢者に合わせるのではなく、現代の対応できる自治会役員を育てるような取組が必要ではないか。	1	アクションプラン案の取組内容に記載のとおり、自治会等地域活動団体のICT活用に向けた支援に取り組んでいきます。	①
57	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「34政策推進」、「35執行体制」	⑤ 政策推進 ・市職員による政策立案能力の向上 ・スタッフとラインの明確化 ・新聞報道によれば、指定管理者制度について応募ゼロ続々	1	人材育成の充実について、職員の政策立案能力の向上をはかるため、毎年政策形成力育成研修を実施しています。組織体制の整備に関して、スタッフ部門としては企画立案を担う政策局、内部事務管理を担う総務局、財政規律の強化を図る財務局を設置し、各局ライン部門と役割を分担しています。 また、指定管理者制度に関する現状については、他市での状況も踏まえ、今後も引き続き、応募条件や広報など事業者が参入を前向きに検討できるような環境づくりに努めていきます。	①
58	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「35執行体制」	⑥ 執行体制 ・組織が出来上がると業務遂行が進むと勘違いしている。人材配置が最重要課題。 ・人材育成について、リスキリング（学び直し）、関西学院大学への聴講生の派遣制度の復活。	1	・組織につきましては、年々変化する行政環境や複雑化・多様化する市民の行政ニーズなどに柔軟かつ的確に対応するため、毎年組織体制を検討するとともにそれぞれの業務内容や業務量に応じた適切な人員配置に努めていきます。 ・職員の人材育成については、西宮市人材育成基本方針に基づき取組を行っています。リスキリング関連としては、職務遂行に寄与すると認められる国家資格の取得費用の一部を助成する資格取得助成制度や、大学院で学ぶ職員を対象に学費の一部を助成する大学院研修助成制度等により、職員の主体的な学びを促しています。	③
59	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「35執行体制」	市の歴史資料等の収集について、地域との接触が多くある担当課は、各地の資料や写真、地元のお年寄りの話と接する機会がある。その時に将来に役立つ貴重な資料や写真と出会っていると思われるため、それらを総務課へ資料提供すればより役立つのではないか。	1	現在も各担当課から総務課へ、地域の方々からの資料の寄贈等についての連絡・相談を受けています。今後も連携を図っていきます。	③
60	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「35執行体制」	総合計画の実行に際しては、市役所職員の皆さんの尽力が不可欠だが、過去何年間にも渡り西宮市においては各種の不祥事が相次いでいる。西宮市の組織文化改革無しにはこの総合計画も絵に描いた餅となりかねないが、総合計画の中に不祥事再発防止や組織文化改革に関して一切記載がないのは何故か。	1	後期基本計画（素案）において不祥事再発防止等に関する施策分野は「35 執行体制」が該当し、「内部統制の推進と監査機能の強化」と「人事管理・人材育成の充実」を掲げています。基本計画で掲げた取組については「総合計画参考資料 アクションプラン」において、より具体的な内容を示しています。 後期基本計画（素案）アクションプランについて、詳細は以下URLを参考にしてください。 ・（施策分野「35 執行体制」 79～81ページ） https://www.nishi.or.jp/shisei/sogokeikaku/sogokeikaku/dai5jisogokeikaku/dai5jisogo_kouki/20230619102340399.html	①
61	後期基本計画（素案）・アクションプラン 「35執行体制」	35. 執行体制 鳴尾等各地域の歴史資料の情報公開、広報	1	「にしのみやデジタルアーカイブ」等で地域の歴史資料を公開しており、今後も掲載資料の更新に努めていきます。	③

【回答分類】 ①素案に記載済の内容です ②素案を修正します ③今後の参考・検討とします ④素案のとおりとします ⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
62	後期基本計画（素案）全般	「第5次西宮市総合計画 後期基本計画（素案）」については、今後の市の何が課題になっているのかのポイントがなく、何をコメントすればいいのか分からないため、問いかけの仕方を考え直した方が良いと思う。これでは住民に対して不誠実な問いかけでありコメントは集まらないと思う。敢えてコメントできないようにしたのだろうかとお断りしたくなる。計画を策定するに当たって市民の立場をよく理解して、地域住人に直結する課題を提示し、コメントを募集してはどうかと思う。	1	後期基本計画（素案）冒頭「後期基本計画の策定に当たって」では、「人々のライフスタイルや価値観の変化」や「社会のあり方に影響を及ぼす新たな技術の進展」を始め第5次西宮市総合計画策定後の社会状況の変化や新たな課題を明記した上で、後期基本計画の概要と施策推進の視点を掲げています。 また、パブリックコメントは、市の基本的な施策の指針や計画、重要な条例の制定をするときに、案の段階で市民の皆様にご意見をお聴きする制度です。「第5次西宮市総合計画基本構想に掲げた将来像を実現するための施策を体系的に示すもの」として位置付けられている後期基本計画（素案）に対して、広く市民の皆様にご意見をいただこうとした趣旨であることをご理解願います。	④
63	収支見直し及び事業計画 1. 第5次総合計画期間（令和元～10年度）の財政収支見直し	「第5次総合計画期間の財政収支見直し」によると、令和4年から10年まで連続して収支は赤字となっており、その赤字を財政基金等の取り崩しで補填する計画となっている。これに関しては「毎年の予算編成や執行においては、出来る限り歳入歳出差引がマイナスとならないよう留意した財政運営を進め、内部事務改革の取組等による財源捻出に努めます。」という抽象的な記載だけで、具体的な方策や数値は一切記されていない。具体的な経費削減や財政改革を盛り込んだ上で赤字にしない総合計画を編成せず、大幅赤字のまま素案を公表した理由は何か。300億円ある基金が、5年後に30億円まで減るといった状況を異常だとは考えていないのか。	1	「収支見直し及び事業計画」は総合計画の参考資料として、計画期間中の収支の見通しと、計画している事業の概要を示すものです。 財政収支の改善や内部事務改革等の取組については、別途、行政経営改革基本方針及び実行計画により進めているところです。 なお、令和4年度決算の状況が厳しいことから、財政収支改善の更なる取組が必要と考えています。	③
64	収支見直し及び事業計画 2. 第5次総合計画 事業計画（令和5年6月）、4. 第5次総合計画 見直し後の事業計画の概要	収支見直しおよび事業計画については、学校改修や保育所、留守家庭児童育成センターの事業費が最も多いのは、兵庫県下において年少人口比率が高く、高齢化率が低いことから正しい方向だと思うが、今後、その比率に変化が見られることから、次の第6次総合計画においては子供関連施設整備の施策がどのように転換していくのか気になる。	1	ご意見いただきましたとおり、今後の年少人口の推移は第6次総合計画以降における事業計画に影響を与えるものと考えられますが、我が国の動向と同様に、本市における学校を始めとした建築系公共施設についても高度経済成長期の都市化の進展に合わせて集中的に整備され、建築後30年以上が経過した施設が多くあるため、今後これらの施設の老朽化対策や更新にかかる費用は必要であると見込んでいます。	①

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

No.	素案等の項目	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答分類
65	基本構想 現状と課題 (5) 市民 の意識	第5次西宮市総合計画の31頁の定住希望比率のグラフにおいて、「市内の別のところがあれば引越したい」の第1位は南東地域であり、第2位は鳴尾地域となっているのは国道43号線、阪神高速3号神戸線に近く沿道環境が悪いからなのか。第3位の北東地域はアップダウンが大きい地域だからなのか。「市外へ」と答えた地域の第1位は良好な住宅地といわれる北東部なのはなぜか。また、第2、3位の塩瀬、山口は高齢になると住みにくくなるからなのかを検証されたい。アンケート結果のどこの部分に視点をあてなぜそう答えたか、の原因を追及することが必要だと考える。	1	地域別の定住希望比率については、アンケート調査結果の精度や複合的な要因に基づく選択が見込まれること等の観点から、単純に数値上で比較するのではなく、回答結果の傾向を大きな視点で捉え基本構想及び基本計画の検討資料に反映することを目的とした項目です。 また、アンケート調査や広聴会を始めとした市民参画を経て、行政として地域ごとの課題認識と予定している取組をまとめたものが「第5次西宮市総合計画参考資料 地域別アウトライン」となりますので、詳細は以下を参考にしてください。 ・地域別アウトライン https://www.nishi.or.jp/shisei/sogokeikaku/sogokeikaku/dai5jisogokeikaku/dai5jisougoukeikaku.html	⑤
66	基本構想 将来像の実現に向けて 2都市空間形成の方向性	第5次西宮市総合計画の40頁(3)土地利用の方向性 商業地の6行目において、「国道43号沿いは背後の住宅地等に配慮した土地利用」とあるが、現在43号線沿いの、本来なら国が買い上げる1列目の土地空間にマンション建設が行われている。老朽化している阪神高速3号神戸線が南海トラフ地震等により倒壊する危険性もある中で、なぜ建設が許可されるのか。現実には、西宮市の理念が記載されている「第5次西宮市総合計画」と乖離したまのちに驚きを持っている。	1	国道43号沿道の土地については、土地所有者から買取要望があれば、国が買い取り、環境防災緑地の整備を行うものであり、買取要望がなければ、用途地域の区分により、マンション建設は可能です。	⑤
67	基本構想 将来像の実現に向けて 2都市空間形成の方向性	第5次西宮市総合計画(3)土地利用の方向性 工業・流通業務地の4行目に「名神湾岸連絡線」の記載があるが、現在、国による説明会も延期になり、用地買収時期及び工事開始時期は示されていない。しかし、市は「地域別アウトライン」において事業化決定される以前に「名神湾岸連絡線」の記載をしている。大阪、関西万博も先行きが不透明と報じられるなか、ドライバー不足やトラックの2024年問題もあり、そもそも人口減少するわけで本当にこの道路が必要なのかを再検討されるべきだ。事業費の負担は全ての納税者に関わることであり、税金の使い方として全ての納税者に恩恵がある項目に支出されるべきかと思う。	1	名神湾岸連絡線は、既に工事着手している大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備されることにより、阪神高速3号神戸線と国道43号に集中する交通を阪神高速5号湾岸線に分散し、阪神高速3号神戸線、国道43号や周辺道路の渋滞の緩和、交通安全性の向上、沿道環境の改善、災害時の交通ネットワークの多重化等の効果が期待される道路であることから、大阪湾岸道路西伸部に遅れることなく整備し、供用する必要があると考えています。	⑤

【回答分類】

①素案に記載済の内容です

②素案を修正します

③今後の参考・検討とします

④素案のとおりとします

⑤その他

3. 「第5次西宮市総合計画 後期基本計画（素案）」にかかる修正箇所対応表

① パブリックコメントの意見を受けて修正した箇所一覧
なし

② パブリックコメントの意見以外で修正した箇所一覧

No.	修正前	修正後	修正理由	素案等のページ
1	さらに、近年の社会情勢の大きな変化やデジタル技術の急速な進歩などを背景に、令和4年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を閣議決定し、これまでの地方創生の取組にデジタルの力を活用して加速させ「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目標として掲げています。	さらに、近年の社会情勢の大きな変化やデジタル技術の急速な進歩などを背景に、令和4年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を閣議決定し、これまでの地方創生の取組にデジタルの力を活用して加速させ「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目標として掲げています。 <u>また、令和5年6月には「こども未来戦略方針」を閣議決定しており、少子化対策の強化に向けた取組が求められています。</u>	令和5年6月に「こども未来戦略方針」が閣議決定されたことに伴い、少子化対策の強化に向けた取組を位置付けるため。	後期基本計画（素案） 1～2ページ
2	母子健康手帳交付時の保健師面接、各種乳幼児健診、 <u>民生委員・児童委員が全戸訪問する健やか赤ちゃん訪問事業等</u> 、様々な部署や地域が支援の必要な家庭の早期把握と情報共有を図り、連携してその後のケアに努める。	母子健康手帳交付時の保健師面接、各種乳幼児健診、 <u>乳児家庭全戸訪問事業等</u> 、様々な部署や地域が支援の必要な家庭の早期把握と情報共有を図り、連携してその後のケアに努める。	国が令和4年度に創設した「出産・子育て応援交付金」における伴走型相談支援を実施するにあたって、事業内容を変更するもの。	アクションプラン 13ページ
3	<u>(仮称) 西宮市健康増進計画・食育推進計画</u>	<u>第3次西宮市健康増進・食育推進計画</u>	令和5年8月に開催した西宮市健康増進計画・食育推進計画推進会議において承認を得たため。	後期基本計画(素案) 5、6ページ アクションプラン 25、36ページ
4	<u>(仮称) 西宮市自殺対策計画</u>	<u>西宮市自殺対策計画</u>	令和5年8月に開催した西宮市自殺対策推進本部会議において承認を得たため。	後期基本計画(素案) 6ページ アクションプラン 36ページ

No.	修正前	修正後	修正理由	素案等のページ
5	管理が不適切な空き家の発生の抑制、特定空家等を生み出さない対策として、住宅や空き家の所有者等に対する啓発などによる予防的対策に取り組む。	管理が不適切な空き家の発生の抑制、特定空家等を生み出さない対策として、住宅や空き家の所有者等に対する 適切な管理と住宅ストックとしての活用につながる 啓発などによる予防的対策に取り組む。	管理が不適切な空き家の発生の抑制、特定空家等を生み出さない対策として、関連する取組を明確にするもの。	アクションプラン 58ページ
6	一部の地域で、地域団体の活動区域と小学校区が合わない地域（境界交錯地域） もあることから、地域団体等が活動しやすくなるよう、地域の実情に応じた団体間の協力・連携が必要である。	一部の地域で、地域団体の活動区域と小学校区が合わない地域（境界交錯地域） があるなど、地域活動に支障となる課題が見られることから、こうした課題の解決に向け、地域の実情に応じた団体間の協力・連携を進めるなどの取組が必要である。	課題を明確化するとともに、行政の役割について記載するもの。	アクションプラン 73ページ
7	市政ニュースやFMラジオ、ケーブルテレビといった従来の広報媒体に加え、フェイスブックや ツイッター 、ラインといったSNS（インターネットを通じた交流サービス）も活用しながら、	市政ニュースやFMラジオ、ケーブルテレビといった従来の広報媒体に加え、フェイスブックや エックス（旧ツイッター） 、ラインといったSNS（インターネットを通じた交流サービス）も活用しながら、より積極的な情報提供に努めているが、市民が必要とする情報を的確かつ効果的に届けるために、市全体としての戦略的かつ効果的な情報発信や、市民との協働につながる広報のあり方を検討する必要がある。	令和5年7月、ツイッターを運営する代表者がブランド名を「Twitter（ツイッター）」から「X（エックス）」に変更することを発表し、ブランド名やアイコン画像などが順次変更されているため。	アクションプラン 75ページ
8	プロモーションサイトやフェイスブック、 ツイッター 、ライン、インスタグラムなどのSNSの活用、市民参加によるイベント実施、民間事業者と連携した情報発信などにより、まちやまちづくりに関心を持つ人を増やす。	プロモーションサイトやフェイスブック、 エックス（旧ツイッター） 、ライン、インスタグラムなどのSNSの活用、市民参加によるイベント実施、民間事業者と連携した情報発信などにより、まちやまちづくりに関心を持つ人を増やす。	令和5年7月、ツイッターを運営する代表者がブランド名を「Twitter（ツイッター）」から「X（エックス）」に変更することを発表し、ブランド名やアイコン画像などが順次変更されているため。	アクションプラン 76ページ